

6 戦略的まちづくりの展開

ここでは、これからのまちづくりの進め方と重点地域における取り組みのイメージを示します。

● これからのまちづくりの進め方

「めざすべき都市の姿」の実現に向けて、「まちづくりの方針」および「分野別構想」に沿った取り組みを効率的・効果的に進めていくために、「戦略的まちづくり」を展開します。

具体的には、下記の「3つのまちづくり戦略」に基づき、地域資源や地域特性を生かした特色のあるまちづくりを市内各地域においてすすめます。

中でも、生かすべき地域資源や地域特性などを示した上で、まちづくりを誘導する地域を「誘導地域」と位置づけます。

さらに、「3つのまちづくり戦略」に基づく重点的な取り組みを推進すべき地域を「重点地域」と位置づけます。

3つのまちづくり戦略

戦略1

都心部※の機能強化や
名所づくりによる
名古屋の魅力・都市力の向上

戦略2

拠点機能・拠点間連携の強化や
緑・水との調和による
都市の持続性の向上

戦略3

地域資源を生かした居住環境の
向上と生活利便性を生かした
既成市街地の再生

市内各地域

地域資源や地域特性を生かした特色のある
まちづくりをすすめます。

誘導地域

地域資源や地域特性などを示した上で
まちづくりを誘導します。

重点地域

下記の重点的な取り組みを積極的に
推進します。(行政発意型)

5つの取り組み

- 世界に誇る都心づくり
- また来たくなる名所づくり
- 広域後背圏を有する既存拠点の再生
- 新たな拠点を中心とした生活圏の形成
- 趣を生かした住宅地の再生

都心部
「名古屋市都心部将来構想」の対象区域で、概ね
外堀通、環状線、大須通、国道19号で囲まれている区域。

3つのまちづくり戦略

戦略1

都心部の機能強化や名所づくりによる名古屋の魅力・都市力の向上

名古屋大都市圏の中核都市として、都市圏の成長を牽引する都市活動の活性化に向けて、商業・業務等の都市機能の集積により、都心部における都市機能のさらなる強化をはかります。あわせて、名古屋ならではの名所づくりやホスピタリティ※を高めることで交流人口の増加をはかり、大都市としての魅力と都市力を高めます。

戦略2

拠点機能・拠点間連携の強化や緑・水との調和による都市の持続性の向上

集約連携型都市構造の実現に向けて、市内各拠点における多様な都市機能の集積や公共交通の活用により、拠点機能や拠点間連携を強化するとともに、拠点へのアクセス性が確保された住宅地の形成をすすめます。あわせて、緑や水がつながり、まちと一体となった環境に調和したまちづくりにより、都市の持続性の向上をはかります。

戦略3

地域資源を生かした居住環境の向上と生活利便性を生かした既成市街地の再生

世代を超えて愛着と安心感を持って生活できる環境づくりに向けて、歩いて暮らせるまちづくりや防災性の向上にあわせ、地域資源や地域特性を生かした地域の魅力づくりをすすめることで、居住環境を向上させます。特に、将来的な人口減少が懸念される既成市街地においては、充実した既存ストックを生かして利便性の高い住宅地として再生をはかります。

ホスピタリティ
お互いを思いやり、手厚くもてなすこと。または
歓待をすること。

1 市内各地域における取り組み

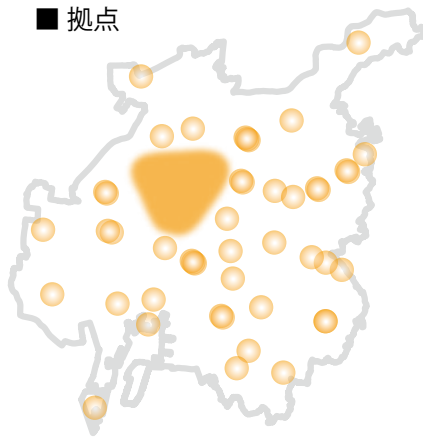
市内各地域にある自然や文化といったまちづくりの資源や既存ストックを活用して、地域ごとの特色あるまちづくりをすすめます。その取り組みが継続的に主体性を持って展開されるために、地域住民や自治会、NPO、商店街、企業、行政など多様な主体が役割分担を明確にし、責任を担うまちづくり（地域まちづくり）をすすめます。



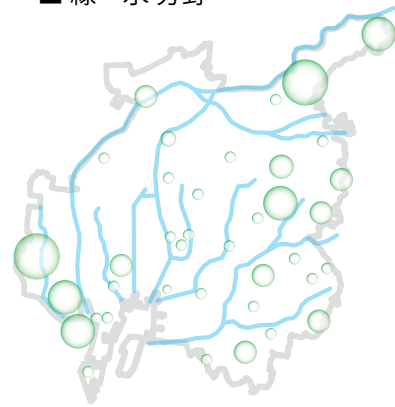
2 誘導地域における取り組み

「3つのまちづくり戦略」に基づく地域まちづくりを誘導するため、「まちづくりの方針」の都市構造で示した拠点や、「分野別構想」の中で示した緑・水・歴史といった資源の活用や良好な景観形成が望ましい地域、防災性の向上などが求められる地域を、「誘導地域」として示します。それにより、地域まちづくりの方向性を多様な主体で共有してまちづくりに取り組むことができます。

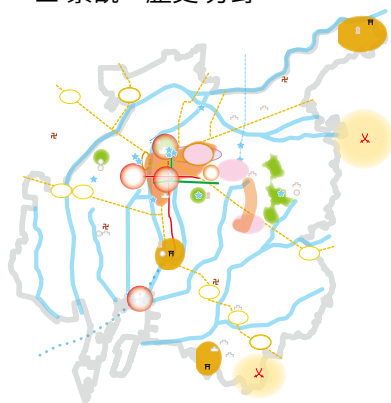
■ 拠点



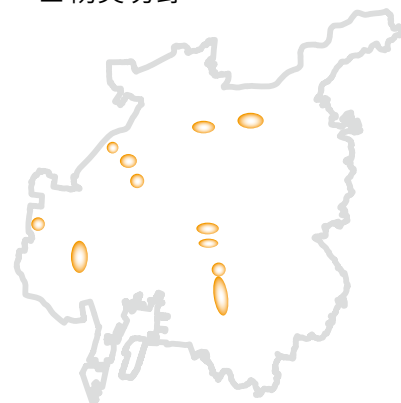
■ 緑・水分野



■ 景観・歴史分野



■ 防災分野



(主な木造住宅密集地域)

3 重点地域における取り組み

「3つのまちづくり戦略」に基づく重点的な取り組みを、下記の5つに整理しました。その上で、「誘導地域」のうち、5つの取り組みを推進すべき地域を「重点地域」と位置づけ、積極的に地域まちづくり（行政発意型の地域まちづくり）をすすめます。

戦略1 都心部の機能強化や名所づくりによる名古屋の魅力・都市力の向上

● 世界に誇る都心づくり

名古屋大都市圏の成長を牽引するため、都心域において、開発誘導・回遊性向上・にぎわい創出の相乗効果により、中枢機能の集積と広域交流機能の充実や風格と魅力ある都市空間の形成をはかり、都心を再生します。

地域名：名古屋駅、栄・伏見・大須、
ささしま・名駅南、
納屋橋・四間道

● また来たくなる名所づくり

人・歴史・文化の交流を促進するために、観光資源を有する地域において、観光資源と一体的なまちづくりを進めることにより、ホスピタリティの強化と市民の誇りとなる名古屋の魅力の醸成をはかり、名所をつくります。

地域名：名城・白壁、熱田、有松、
城山・覚王山、築地、金城ふ頭

戦略2 拠点機能・拠点間連携の強化や緑・水との調和による都市の持続性の向上

● 広域後背圏を有する既存拠点の再生

都市力・都市魅力を強化するために、広域後背圏を有する都心域周辺の交通結節点において、回遊性向上・にぎわい創出をはかり既存拠点を再生することにより、後背圏との一体性と市街地のメリハリを確保します。

地域名：大曾根、金山、今池

● 新たな拠点を中心とした生活圏の形成

土地の有効活用や緑・水辺などの地域資源を生かしたまちづくりと、公共交通の利便性の向上を一体的にすすめることで新たな拠点と生活圏の形成をはかり、市域で均衡のとれた集約連携型都市構造をめざします。

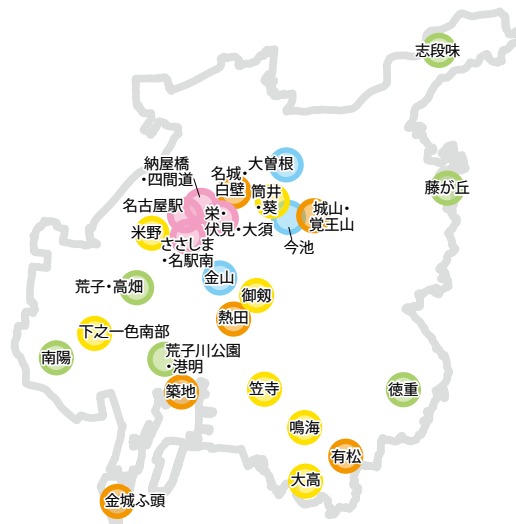
地域名：志段味、南陽、荒子・高畑、
荒子川公園・港明、徳重、藤が丘

戦略3 地域資源を生かした居住環境の向上と生活利便性を生かした既成市街地の再生

● 趣を生かした住宅地の再生

居住環境の向上が必要な既成市街地において、路地空間などの地域資源の活用と防災性の確保の両立により、多様で趣があるまちの形成をはかり、既成市街地を再生します。

地域名：米野、筒井・葵、鳴海、大高、
下之一色南部、笠寺、御剣



※ 各重点地域においては、取り組みの効果を高めるため、必要に応じて他の戦略に沿った取り組みもすすめます。

● 重点地域における取り組みのイメージ

重点地域で取り組む地域まちづくりの具体例を示します。

今後、地域の多様な主体の参画により、地域ごとのまちづくりの取り組み内容を決めていきます。

戦略1

都心部の機能強化や名所づくりによる名古屋の魅力・都市力の向上

● 世界に誇る都心づくり

名古屋大都市圏の成長を牽引するため、都心域において、開発誘導・回遊性向上・にぎわい創出の相乗効果により、中枢機能の集積と広域交流機能の充実や風格と魅力ある都市空間の形成をはかり、都心を再生します。

■名古屋駅

● リニア中央新幹線の開業などにより大都市圏内外の交流の要となるターミナル※をめざして、広域交流機能や都市空間の充実をはかります。また、乗り換えの利便性の向上や案内情報の充実等により、交通結節点としての機能を強化するとともに、来訪者の利便性向上をはかります。



■名古屋駅周辺

● 建物の更新にあわせた再開発等を積極的に誘導するとともに、名古屋大都市圏の玄関としての風格と都市の魅力を感じさせるシンボリックな都市空間の形成をはかります。名古屋駅周辺に残る歴史的な資源や界限にも配慮しながら、ものづくり文化の交流拠点やにぎわい空間の形成をはかります。

● 交流人口の増加に対応した歩行者空間の拡充や回遊性の向上、地上と地下の連続性の確保や公開空地の確保、屋外広場の整備などをはかるとともに、エリアマネジメント※により、それらの管理・活用をはかります。

● 未利用エネルギーの活用や地域冷暖房のさらなる整備を促進します。

ターミナル
各種の輸送形態において、その輸送路の末端、あるいは乗り換え（荷物なら積み替え）を行なう施設。

エリアマネジメント
地域における良好な環境や地域の価値を維持・向上させるための、住民・事業主・地権者等による主体的な取り組み。

■栄・伏見・大須

- 広域から集客できる商業・文化・娯楽の中心地にふさわしい活力ある都市空間の創出をはかります。また、ちよい乗りバス※などの短距離交通システムにより回遊性を高めることで、面的に魅力が広がるまちづくりをめざします。
- 栄地区では、豊かな公共空間や公有地を活用した魅力と活力のある都市空間の形成をはかります。また、まちづくり団体によるエリアマネジメントを促進し、にぎわいづくりや個性豊かなまちづくりをめざします。
- 久屋大通地区では、スケールの大きな空間と豊かな緑にふさわしい品位ある洗練されたデザインのまちなみ形成により、にぎわい、憩い、親しみを感じる人間性豊かで活力ある都市空間の創出をはかります。また、名古屋テレビ塔やオアシス21、地下街の連携強化により回遊性を高め、名古屋を代表するシンボル空間としての魅力向上をはかります。
- 広小路通や大津通沿道では、名古屋の都心にふさわしい調和のとれたまちなみの形成により、にぎわいや親しみがあり、文化の香り高い人間優先の魅力ある都市空間の創出をはかります。また、広小路通沿道に残る歴史的建造物の保存・活用につとめ、名古屋の歴史を感じられる通りにしていきます。
- 伏見地区では、白川界隈の科学館や美術館をはじめとする文化・芸術性のあふれる地区の特色を生かして、個性ある店舗の立地誘導をはかるなど魅力づくりをすすめるとともに、地下鉄駅や広小路通との回遊性の向上をはかります。また、長者町界隈では、新産業機能や都心居住機能を充実し、繊維街としてのまちの個性を生かしたにぎわいづくり、魅力づくりをめざします。
- 若宮大通地区では、若宮大通公園をイベントスペースとして活用をはかることなどにより、沿道の商業施設等の立地誘導をすすめるなど、栄・伏見地区と大須地区の接点として隔たりを感じさせないにぎわいや活力ある都市空間の創出をはかります。
- 大須地区では、大須観音や万松寺などの歴史的な資源やユニークな店舗が集まる特色のある商店街が一体となり魅力の向上をはかるとともに、地元商業者の活力を生かしたにぎわいあふれるまちづくりをめざします。



■久屋大通公園周辺

ちよい乗りバス
日常生活でのちょっとした移動に手軽に利用できるバス。

■ ささしま・名駅南

- ささしまライブ24地区では、土地区画整理事業により幹線道路などの都市基盤整備をすすめ、国際的・広域的な商業・業務機能などの集積を誘導し、国内外から訪れる人々や市民でにぎわう交流の場を提供する「国際歓迎・交流の拠点」の形成をめざします。
- 名駅南地区では幹線道路の整備をはじめとした都市基盤の再編をはかるとともに、エリアマネジメントによる土地利用の転換や土地の高度利用による活性化をめざします。
- 交流人口の増加に対応するため、名古屋駅からの歩行者空間の改善・拡充を行い、名古屋駅からささしま及び名駅南地区方面への回遊性の高い歩行者ネットワークの形成をはかります。
- 地区内の緑化率を高めるとともに、中川運河船だまりを中心とした公共空間を、まちに彩りや憩いを提供する親水空間として整備するなど、環境に配慮したまちづくりをすすめます。
- 船だまりから露橋水処理センターの上部空間、松重閘門公園、堀川とつながる水と緑の回遊空間の整備をすすめます。



■ ささしまライブ24地区周辺

■ 納屋橋・四間道

- 歴史ある水辺空間である堀川を生かしたまちづくりを進めることで、都心の風格とうるおいを創出します。
- 堀川に隣接する歴史的建造物の活用に取り組みとともに、親水性の高い広場や遊歩道の整備をはかります。また、周辺との回遊性を高めるとともに、物販、飲食など集客性の高い施設の集積をはかるとともに、水辺空間と連携した楽しく散策できる環境づくりをめざします。
- 歴史的な建築物の商業的活用や、路地空間など歴史的な資源を生かした魅力ある空間づくりをめざします。
- 納屋橋地区においては、再開発事業等により商業・文化機能等の集積をはかり、広小路通の集客性や回遊性の向上をめざします。



■ 四間道

● また来たくなる名所づくり

人・歴史・文化の交流を促進するために、観光資源を有する地域において、観光資源と一体的なまちづくりをすすめることにより、ホスピタリティの強化と市民の誇りとなる名古屋の魅力の醸成をはかり、名所をつくります。

■ 名城・白壁

- 名古屋城本丸御殿の復元をはじめとする城郭全体の再生や景観の維持・向上、白壁周辺にある歴史的建造物の保存・活用をはかることなどにより魅力の向上をめざします。
- 観光ルートバスの運行等により、「文化のみち」にある歴史的建造物や堀川といった歴史的な資源間の回遊性を高め、歴史が感じられる面的に広がりのある名所づくりをめざします。
- 名古屋城に近く、地下鉄駅そばに立地する市営住宅城北荘において、景観面で周辺地域との調和に配慮しながら、駅そば市営住宅の再整備モデルとして建替えをすすめるとともに、「文化のみち」において歴史と緑が調和した趣のある良好な居住環境の形成をめざします。



■名古屋城周辺

■ 熱田

- 名鉄神宮前駅周辺における大規模未利用地の活用とともに、駅前地区において、土地の高度利用や熱田神宮前にふさわしいにぎわいのある駅前空間を創出するなど、地域の活性化や利便性の向上をはかり、拠点の形成や趣がある名所づくりをめざします。
- 地域の住民や商店街、大学、NPO等と協働して、宮の渡しをはじめとする熱田神宮周辺の歴史的な資源や堀川などの地域資源を生かした、にぎわいのあるまちづくりをめざします。また、情報案内板の拡充やレンタサイクルの導入を検討するなど、来訪者が回遊しやすい環境づくりをめざします。



■熱田神宮周辺

■有松

- 歴史的建造物が保存されたまちなみや伝統産業（絞り）、伝統文化（山車）を生かしたまちづくりをめざします。
- 歴史的建造物の魅力を生かした商業的活用により、継続的なまちなみ保存の仕組みづくりをすすめます。
- 旧東海道を生かし、周辺の歴史的な資源と一体となった魅力の創出をはかります。



■旧東海道沿いのまちなみ

■城山・覚王山

- 地域や日泰寺参道のイベントなどと連携しながらにぎわいの創出をはかるとともに、寺社や近代建築物、末盛城跡などの歴史的な資源を生かした地域の魅力づくりと回遊性の向上をめざします。
- 歴史・文化資産である揚輝荘の段階的な修復整備を進めるとともに、地域住民やNPOなどと協力してまちづくり・文化活動の核となる施設として活用していきます。
- 起伏に富んだ地形、豊かな緑、豊富な歴史的資源や文化が調和した趣のある良好な居住環境の形成をはかります。



■揚輝荘聴松閣

■築地

- 堀川右岸の整備や旧倉庫の有効活用などによりウォーターフロントとしての港の魅力を高めます。
- 中川運河沿いに整備された水際線プロムナードや水族館周辺などガーデンふ頭一帯における回遊性を高め、面的に広がりのある魅力的な名所づくりをめざします。
- 名古屋の海の玄関にふさわしいまちなみの形成により、活気とにぎわいにあふれた港まちらしい個性豊かな都市空間の創出をはかります。



■ガーデンふ頭

■金城ふ頭

- あおなみ線や伊勢湾岸道路などによる交通利便性を生かした国際交流拠点の形成をめざして、国際展示場の再整備によるコンベンション※機能の強化やモノづくり文化交流拠点構想※の実現をはかります。
- 現在ある港湾物流機能と調整をはかりながら、緑の創出やウォーターフロントの活用、商業・アミューズメント施設など都市機能の誘導を一体的にすすめるとともに、域内の回遊性を高め、広域からも来訪者が訪れるようなにぎわいと魅力のある新しい名古屋の名所づくりをめざします。



■金城ふ頭

※コンベンション
見本市や様々な大会・会議などの催し。

※モノづくり文化交流拠点構想
“モノづくり文化”を発信・継承するため、名古屋港金城ふ頭に「産業技術」をテーマとして、人々が交流する拠点を形成する構想。

戦略2

拠点機能・拠点間連携の強化や緑・水との調和による都市の持続性の向上

● 広域後背圏を有する既存拠点の再生

都市力・都市魅力を強化するために、広域後背圏を有する都心域周辺の交通結節点において、回遊性向上・にぎわい創出をはかり既存拠点を再生することにより、後背圏との一体性と市街地のメリハリを確保します。

■大曽根

- 駅前広場やサンクンガーデン※をイベントスペースとして活用することで、にぎわいの創出をはかります。
- 地域の資産として商店街を活性化させるため、商店街内の空き店舗の活用や地域の情報発信を行うなど、地域ぐるみの取り組みをめざします。
- 大曽根地区と徳川園、ナゴヤドーム、カルポート東など周辺施設との連携を強化し、回遊性の向上をはかるなど、面的に広がりのある魅力的な拠点形成をめざします。
- 矢田川との親水性を高めるなど、市民の憩いの場の創出をめざします。
- 大曽根北土地区画整理事業により道路・公園の整備や居住環境の改善をすすめます。また、住宅市街地総合整備事業※により、防災性の向上や憩い空間の創出などをすすめます。



■大曽根商店街

サンクンガーデン
一般の道路や地盤よりも低い位置につくられた広場や庭園。

住宅市街地総合整備事業
既成市街地において、快適な居住環境の創出、都市機能の更新、美しい市街地景観の形成、密集市街地の整備改善等をはかるため、住宅や公共施設の整備等を総合的に行う事業。

■金山

- 建物の更新にあわせた再開発等の誘導により、交通結節点にふさわしい都市機能や魅力施設等の更なる集積をはかります。
- 建物の更新にあわせた壁面後退※や公開空地の創出により、憩いの空間の確保をめざします。
- 金山地区と熱田や白鳥、堀川沿岸など周辺地域との連携を強化し、回遊性の向上をはかるなど、面的に広がりのある魅力的な拠点形成をめざします。



■金山駅周辺

■今池

- 建物の更新にあわせた再開発等の誘導により、都市機能の再生・強化をはかります。
- 駅周辺地域の歩行者空間の拡充をはかるなど回遊性を高め、千種・池下地域との連続性を確保するとともに、エリアマネジメントによる活性化をめざします。
- すいどうみち緑道を軸とし、周辺の民地の緑化をはかるなど、緑の連続性を意識したまちづくりをめざします。
- 商業・娯楽・文化などが混ざり合うまちの特性を生かし、親しみとふれあいのある個性的で魅力ある都市空間の形成をはかります。



■今池駅周辺

壁面後退

街区内における建築物の位置を整え、その環境の向上をはかるために、隣地境界線や道路境界線から建築物の外壁面を後退させること。

● 新たな拠点を中心とした生活圏の形成

土地の有効活用や緑・水辺などの地域資源を生かしたまちづくりと、公共交通の利便性の向上を一体的にすすめることで新たな拠点と生活圏の形成をはかり、市域で均衡のとれた集約連携型都市構造をめざします。

■ 志段味

- 周辺環境と調和した土地区画整理事業を進めることにより、良好な居住環境の形成をすすめます。
- 幹線道路やスマートインターチェンジの整備、ガイドウェイバス※等公共交通の充実により、域内外の交通の円滑化をはかります。
- 居住・研究開発（なごやサイエンスパーク）などの各機能が調和したまちづくりである「志段味ヒューマン・サイエンス・タウン」の整備をすすめます。
- 商業・サービス施設と交通広場の一体的な整備など、新たな拠点形成に資する都市機能の充実をはかります。
- 古墳など歴史的な資源の保存・活用やそれらを結ぶ散策路の整備などにより魅力づくりをすすめます。
- 地球環境にやさしく、深いきずなづくりや子育てがしやすい環境を提案するモデル的な住宅団地「エコビレッジ志段味※」の整備をすすめます。



■ なごやサイエンスパーク

■ 南陽

- 周辺環境と調和した土地区画整理事業を進めることにより、自然と触れ合える良好な居住環境の形成と防災性を考慮したまちづくりをすすめます。
- 幹線道路の整備や公共交通の充実による近隣鉄道駅等へのアクセス性の向上により、域内外の交通の円滑化をはかります。
- 商業・サービス施設と交通広場の一体的な整備など、新たな拠点形成に資する都市機能の充実をはかります。



■ 茶屋新田土地区画整理事業のイメージ

ガイドウェイバス
一般のバス車両に案内装置等をつけ、高架専用軌道と平面一般道路の双方を連続して走行できるシステム。

エコビレッジ志段味
志段味地区における資源消費の抑制や環境負荷の低減に配慮した循環型社会対応住宅（定住促進住宅）。

■荒子・高畑

- 荒子観音などの歴史的な資源と路地を生かした趣のあるまちづくりをめざすとともに、荒子駅と歴史資源間の回遊性向上をめざします。
- 荒子駅や高畑駅周辺において、商業施設、図書館、文化小劇場などの都市機能を生かした歩いて暮らせるまちづくりをめざします。
- あおなみ線沿線における低未利用地の土地利用転換などによる都市機能の充実に向けた検討をすすめます。



■荒子観音（観音寺）

■荒子川公園・港明

- 港区役所駅周辺においては、大規模未利用地を活用して都市機能の集積をはかるとともに、歩行者中心の拠点形成をめざします。
- 商業機能のある荒子川公園駅周辺と新たな拠点形成をめざす港区役所駅周辺とをつなぐ荒子川運河・港北運河一帯において、水上交通の導入や運河沿いのプロムナード整備などにより、地域間の回遊性向上をめざします。
- 荒子川運河・港北運河及び中川運河下流域を中心に、名古屋港漕艇センターや緑地を生かして、レガッタなど水上スポーツや運河沿いの散策などができる親水空間の形成をはかります。



■中川運河

■徳重

- 地下鉄端末駅や行政サービス拠点としての立地性を生かし、サービス・商業施設などの都市機能の更なる集積をめざすことで、新たな集約拠点の形成をはかります。また、その利便性を生かして、歩いて暮らせるまちづくりと周辺市町との連携強化をめざします。
- 扇川を始めとする豊かな緑・水などの自然と調和した良好な居住環境の形成をめざします。



■徳重駅周辺

■藤が丘

- 建物の更新にあわせた再開発等の誘導により、地下鉄とリニモの交通結節点にふさわしい都市機能の再生・強化をはかり、にぎわいのある拠点形成と周辺市町との連携強化をめざします。
- 面的に広がる個性的な店舗や桜の街路樹など地域の特色を生かした歩いて暮らせる魅力あるまちづくりをめざします。



■藤が丘駅周辺

戦略3

地域資源を生かした居住環境の向上と生活利便性を生かした既成市街地の再生

● 趣を生かした住宅地の再生

居住環境の向上が必要な既成市街地において、路地空間などの地域資源の活用と防災性の確保の両立により、多様で趣があるまちの形成をはかり、既成市街地を再生します。

■ 米野

- 防災公園としての役割も担う米野公園の整備をすすめるとともに、建替えにあわせた狭あい道路の拡幅や、空家の除却などにより、地域の防災性の向上をはかります。
- 都心との近接性や地域の趣を生かした良好な居住環境の形成をめざします。



■ 米野公園

■ 筒井・葵

- 筒井、葵土地区画整理事業により道路・公園の整備や居住環境の改善をすすめます。また、住宅市街地総合整備事業により、防災性の向上や憩い空間の創出などをすすめます。
- 都心との近接性や交通利便性の高さを生かして都市機能の充実をはかるとともに、趣がある良好な居住環境の形成をめざします。



■ 筒井土地区画整理事業

■鳴海

- 鳴海駅周辺の拠点性を高めるため、再開発事業等により駅周辺の土地の高度利用をはかるとともに、駅前広場を生かして交通便利性を確保するなど、歩いて暮らせるまちづくりをめざします。
- 旧東海道の宿場町として、歴史的な資源を生かした趣があるまちなみづくりや有松、笠寺など旧東海道沿いの各地域との連携をはかり、魅力のあるまちづくりをめざします。



■鳴海駅前第2種市街地再開発事業のイメージ

■大高

- 大高駅前土地区画整理事業による道路・公園の整備や居住環境の改善をすすめます。
- 道路の整備等により防災性の向上をはかりつつ、大高城跡や酒造蔵など、歴史的な資源の保存・活用をすすめ、歴史や緑と調和のとれた良好な居住環境の形成をめざします。



■酒造蔵

■下之一色南部

- 下之一色南部土地区画整理事業により道路・公園の整備や居住環境の改善をすすめます。
- 土地区画整理事業区域の地盤面を高くすることで、水害時には周辺住民も避難できるよう防災性の向上をすすめます。



■下之一色南部土地区画整理事業

■笠寺

- 笠寺観音や一里塚を含む旧東海道など歴史的な資源を生かした趣があるまちづくりをすすめます。
- 名鉄本線の高架化や道路の整備を契機として、拠点の再生や居住環境の改善など駅周辺のまちづくりについて検討をすすめます。



■笠寺観音（笠覆寺）

■御劔

- 建替えにあわせた狭あい道路の拡幅や、空家の除却などにより、地域の防災性の向上をはかりつつ、身近な歴史的な資源や八劔社などの社寺の保存・活用をすすめ、歴史まちづくりと防災まちづくりの調和のとれた良好な居住環境の形成をはかります。
- 商業機能の再生などによる歩いて暮らせるまちづくりをめざします。



■御劔